

河川事業全体の方向性について

H30年度 第1回北海道管理河川の川づくりワーキング
平成30年9月4日

1. 治水・砂防事業全体の方向性

基本的な考え方

- * 第一に河川の安全度を高めることを考えて事業を実施し、その中で河川利用や環境保全を図っていきます。

川づくりワーキング委員の専門性の活用

- * 各委員に、それぞれの方の専門性に関する調査等への同行を依頼し、あるいは施工に関する助言をいただき、計画の参考とします。

親水性

- * 水辺の楽校を中心に、立地条件等の状況(流下能力、学校、住宅地、沿川住民要望など)に合わせて親水性に配慮します。

重要種^{※1}植物への対応

- * 施工範囲の重要種植物については、可能な限り保全や移植を検討します。

※1 重要種:環境省や北海道のレッドリストなどで指定された生物